

3・4回生 必修科目「地理総合」授業のシラバス

教科名	地理歴史	科目名	地理総合	単位数	2	単位	
科目の目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
教科書	高等学校新地理総合（帝国書院）			副教材			

1 学習の目標

- (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。現代世界の諸課題を地理的に追求、考察する力を身に付ける。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

2 学習の方法

- (1) 予習について
 - 地理は、身近な地域の問題から世界規模の環境・エネルギー問題まで、現代社会が抱えるさまざまな問題と密接に関係しています。そこで、新聞やニュースに日頃から関心を持ち、「なぜ」「どうして」と疑問を持ってください。
- (2) 授業について
 - 教科書に沿って、基本的な事項・事柄を学習します。定期考査は授業内容から出題します。
- (3) 復習について
 - 授業後、次の授業前までにノートを開き、学習した内容を思い出して下さい。その際、わからないことがあったら教科書・資料集などを用いて確認しましょう。

〈学習アドバイス〉

- メモ、ノートの書き方・しりとり方～理解しやすいメモ、ノート術
ノートは、授業内容を理解し記憶するための道具です。板書を写しただけのノートは、授業内容を思い出しにくく理解しにくい。授業で先生が説明した内容を線や図で書き込むなど、先生の説明した話や余談も、どんどんノートの余白に書き込んでください。
- 地理は、「なぜ」そのようになっているのか「地域の理」（土地のさまざまな事象を記録し、そこから法則を見いだすこと）を明らかにします。そのため、法則性（見方・考え方）が問われるのであって、教科書の記述がそのまま問題として出題されるわけではありません。教科書の記述内容を覚えても得点につながりません。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追及の方法を理解し、その知識を身に付けている。
②思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、適切に表現する。
③主体的に学習に取り組む態度	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。

(2) 評価の方法（以下観点①～③は「(1) 評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料	定期 考査	単元 テス ト	小 テス ト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノ ー ト	ワー ク シ ー ト	討 議	姿 勢 態 度			
①知識・技能		◎		○											
②思考・判断・表現		◎		○					○						
③主体的に学習に取り組む態度						○			○			○			

〈担当者からのメッセージ〉

- 地理は、身近な地域の問題から世界規模の環境・エネルギー問題まで、現代社会が抱えるさまざまな問題がテーマです。地理を学習することで、日本人として、グローバル世界の一員としてどうあるべきかを考えていきましょう。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊 重の心	強くし なやか な心身	日本人 としての 誇り	多様性 の尊重
関心 ・意欲	問題 発見力	情報 収集力	論理的 思考力	共感的 態度	意見交換 ・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心をもち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されず、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の実や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さや健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画 ※【知識・技能】→①、【思考・判断・表現】→②、【主体的に学習に取り組む態度】→③

※授業内容を前倒し、あるいは一部順番を入れ替えて行う場合があります。

【3回生】

月	単元	学習内容	評価の観点	考查等	資質・能力
4	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類	1 地球上の位置と私たちの生活(1) 2 時差と私たちの生活(1) 1 地球儀と地図(2) 2 身の回りの地図(2) 3 統計地図の種類と利用(3) 4 地理情報システム(GIS)の利用(4)	緯度・経度の仕組み 時差の仕組み 球体の地球と平面の地図 身の回りの主題図やさまざまな一般図 統計地図の種類、統計地図の比較 地理情報システムのしくみ(GIS)		ABCDEL M
5	第2章 結び付きを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界	1 現代世界の国家(5) 2 日本の位置や領域(6) 1 国家間の結び付き(6) 2 貿易によって結びつく世界(6) 3 さまざまな交通網の発達(7) 4 世界を結ぶ通信網の発達(7) 5 観光のグローバル化(8)	国境の種類、国家の領域、国家の主権 日本の位置と領域、排他的経済水域 国際関係と紛争の変化、国連の役割 暮らしを支える貿易、貿易の変化 航空交通、海上交通、陸上交通 通信技術の発達、変化、格差 観光のグローバル化、多様化する観光		ABCDEL M
6	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 序節 生活文化の多様性 1節 世界の地形と人々の生活	1 生活文化を考察する方法(9) 1 大地形と人々の生活(10) 2 変動帯と人々の生活(10) 3 安定地域と人々の生活(11) 4 河川がつくる地形と人々の生活(12) 5 海岸の地形と人々の生活(12) 6 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活(13)	生活文化を考察する方法、国際理解 大地形を構成する変動帯と安定地域 変動帯プレート、地震と火山 安定地域の平野と山地 河川がつくる地形と生活のかかわり 海岸の地形と生活のかかわり それぞれの地形と生活のかかわり		ABCDEL M
7	2節 世界の気候と人々の生活	1 気温・降水と人々の生活(14) 2 大気循環と人々の生活(15) 3 世界の植生と気候区分(16) 4 熱帯の生活(17) 5 乾燥帯の生活(17) 6 温帯の生活(18) 7 亜寒帯・寒帯の生活(18)	気温と降水のしくみと分布 大気循環・恒常風・季節風 植生と気候のかかわり、ケッペンの気候 熱帯の気候・生活のかかわり 乾燥帯の気候・生活のかかわり 温帯の気候・生活のかかわり 亜寒帯・寒帯の気候と生活のかかわり	1学期期末考查	
8	1 0 追跡事例 自然1 追跡事例 自然2	追跡事例1 オセアニア(19-20) 追跡事例2 東南アジア(19-20)	観光・安定地域・農業・鉱工業 季節風・民族・稲作・商品作物		
1	3節 世界の言語・宗教と人々の生活 追跡事例 宗教1 追跡事例 宗教2	1 世界の言語と人々の生活文化(21) 2 世界の宗教と人々の生活文化(22) 追跡事例1 中央アジア・西アジア・北アフリカ(23-24) 追跡事例2 インド(23-24)	言語と民族のかかわり 宗教と生活のかかわり ムスリム・三つの言語集団・生活習慣 乾燥地域での暮らし・石油資源 民族・ヒンドゥー教・宗教・工業		
1	2 4節 歴史的背景と人々の生活 追跡事例 歴史1 追跡事例 歴史2 追跡事例 歴史3	1 歴史的背景が人々の生活に与える影響(25) 追跡事例1 ラテンアメリカ(26-28) 追跡事例2 サハラ以南アフリカ(26-28) 追跡事例3 ロシア(26-28)	生活文化に影響した歴史的背景 成り立ち・民族・農業・工業 植民地・商品作物・経済成長 国家体制の変化・民族・経済成長		
2	5節 世界の産業と人々の生活	1 人々の生活を支える農業の発展(29) 2 人々の生活を支える工業の発展(30) 3 グローバル化する現代の産業と人々の生活(31)	農業の発展と生産性・農業の近代化 工業の発達と生活の変化・工業地域の地域差 企業活動のグローバル化・脱工業化	2学期期末考查	
3	追跡事例 産業1 追跡事例 産業2 追跡事例 産業3	追跡事例1 アメリカ合衆国(32-33) 追跡事例2 東アジア(32-33) 追跡事例3 ヨーロッパ(32-33) 1 相互に関連する地球的課題とその解決に向けて(35)	ICT産業・穀物メジャー・多民族国家 東アジアの経済成長・経済成長と格差 EU・農業・工業・生活文化・格差 世界各地で見られる地球環境問題		

4 授業計画 ※【知識・技能】→①、【思考・判断・表現】→②、【主体的に学習に取り組む態度】→③

※授業内容を前倒し、あるいは一部順番を入れ替えて行う場合があります。

【4回生】

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	資質・能力
4	第2章 地球的課題と国際協力 1節 複雑に絡み合う地球的課題 2節 地球環境問題	1 多様な地球環境問題(36) 2 熱帯林の破壊への対策(37) 3 地球温暖化への対策(38)	地球環境問題の種類と背景 熱帯林破壊が進行する地域と理由 原因と影響、対策と課題		ABCDEL M
5	3節 資源・エネルギー問題	1 世界のエネルギー・鉱産資源(39) 2 エネルギー利用の現状と課題(40) 3 地域で異なるエネルギー問題への取り組み(41-42)	エネルギーの種類と資源利用の変化 エネルギー生産と消費の不均衡 バイオエタノール、洋上風力発電		
6	4節 人口問題	1 世界の人口(43) 2 発展途上国と先進国の人口問題(44) 3 地域で異なる人口問題への取り組み(45-46)	世界の人口分布と人口増加 発展途上国と先進国の人口問題 インド・フランスの人口問題と対策		
7	5節 食料問題	1 飢餓と飽食(47) 2 地域で異なる食料問題への取り組み(48-49)	発展途上国と先進国の食料問題 食料増産と食品ロス		
8	6節 都市・居住問題	1 世界の都市の発展(50) 2 発展途上国と先進国の都市・居住問題(51) 3 地域で異なる都市・居住問題への取り組み(52-53)	都市の形成と分布、機能と構造 発展途上国と先進国の都市問題 メキシコシティとポーランドの取組	1学期期末考査	
10	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境	1 日本の地形(54) 2 日本の気候(54)	日本列島の山地と平野 季節変化と地域差		ABCDEL M
11	2節 地震・津波と防災	1 地震・津波による災害(55) 2 地震・津波の被災地の取り組み(56-57)	地震と地域被害の特徴 東日本大震災と阪神淡路大震災		
12	3節 火山災害と防災	1 火山の恵みと災害(58) 2 火山と共生する地域の取り組み(59-60)	火山の分布、恵み、災害 島原市と鹿児島市の取り組み		
1	4節 気象災害と防災	1 さまざまな気象災害(61) 2 気象災害への取り組み(62-63)	気象災害と都市化による水害 水害と大雪		
2	5節 自然災害への備え	1 減災の取り組み(64) 2 被災地への支援(65-66)	被害を軽減するための取り組み 自助・共助・公助・復旧・復興	2学期期末考査	
3	第2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望	1 地理的な課題と地域調査(67) 2 現地調査の準備(68) 3 現地調査の実施(69) 4 調査の分析と発表(70)	地理的な課題の解決 仮設の設定と調査計画 現地調査の方法 調査結果の分析と仮設の検証・まとめ		ABCDEL M